

長松小学校沿革

(1) 沿革

- 明治 8. 9 神田分校と称し、上神田観音堂を仮校舎として下等小学校を開設。後に唐津藩倉庫を移転、神田御山に新築した。
16. 4 唐津小学校分校となり、唐津小学校分校と称し、初等中等の授業を始める。
25. 5 小学校設備規則に基づき大字神田144番地に校舎を新築。長松尋常小学校と改称。
25. 5 唐津小学校見借分校と妙見分校を合併して修業年限4年として2学級編成となる。
29. 12 大字大島に1学級分校をおき、長松尋常小学校大島分校と称する。
33. 9 2学級増築。同時に妙見分校を置き、大島分校を廃しこれと合併する。
33. 9 大字竹木場575番地に竹木場分校を設け、学級編成本校4学級、妙見分校3学級、竹木場分校1学級、計8学級となりいずれも4ヵ年の課程となる。
34. 7 妙見分校独立して、西唐津小学校となる。
35. 4 修業年限4ヵ年の高等科を併設して4教室を増築、長松尋常高等小学校と称する。
35. 8 長松農業補修学校を併置する。
38. 4 高等科1学級を増設、3学級とする。
40. 4 学令改正により尋常科6年高等科2年に改め、1学年1組の8学級編成とする。
(義務教育6ヵ年とする)
41. 4 長松農業補修学校を廃止する。
42. 11 平屋1棟増築し、2棟売却2階屋を改築。
45. 4 竹木場分教場独立する。
- 大正 5. 4 西唐津尋常小学校に高等科設置、同区分離する。
9. 5 尋常科7学級とする。
9. 9 運動場403坪拡張する。
11. 7 学校敷地650坪を拡張する。
12. 3 北校舎を増築し、理科室・作法室・家事室を置く。
12. 4 尋常科9学級、高等科2学級編成となる。
- 昭和 9. 本館改築同時に使丁室・宿直室改築、養護室設置。
9. 4 長松尋常小学校と改称。学級数12(市内の高等科統合)
15. 本館南側に風致園を作る。(2,600年記念)
16. 4 長松国民学校と改称。
22. 4 長松小学校と改称。(6・3制発足、義務教育9ヵ年となる)
23. 7 給食室拡張工事完成、学校給食開始。
25. 10 運動場拡張。
26. 学校放送設備完成及び学校図書館発足。
28. 学校図書館県指定発表会。
30. 5 九州地区学校図書館協議会会場となる。
32. 8 運動場施設完成。
32. 11 中校舎1教室増築、17学級となる。
33. 4 18学級となる。
33. 8 中校舎1教室増築となる。
34. 4 学校給食再開。(昭和26年に中止)
34. 11 県教委指定の学校体育の研究発表を行う。
36. 3 保健体育優秀校として全国体育研究会、文部省より表彰を受ける。

- 36. 7 県統計協会より2年間の統計教育の研究指定校となる。
- 37. 10 統計教育の研究発表を行う。
- 43. 4 3学級増, 24学級となる。
- 43. 12 校舎改築着工, プレハブ仮校舎へ移転。
- 44. 4 特殊学級1学級設置。
- 44. 9 新校舎完成, 校舎移転。(171,700千円)
- 47. 1 屋内運動場完工。(5,433千円)
- 47. 4 プール建設着工, 7月完工。(9,300千円)
- 47. 9 校舎増築着工, 48年3月完工。(30,995千円)
- 48. 11 優秀PTAとして県PTA表彰を受ける。
- 49. 2 新春読書感想文コンクールで努力校として表彰を受ける。
- 50. 3 新運動場埋め立て。
- 50. 11 創立百周年記念事業を行う。校歌を制定する。
- 51. 7 交通安全を宣言する。(交通安全宣言校)
- 52. 7 児童交通安全指導部を結成する。
- 52. 8 夜間照明装置並びに防球ネット完成する。
- 52. 11 昭和52年度新規採用教員研究指定校となる。
- 53. 4 昭和53年度学校緑化事業実施校となる。
- 54. 4 1学級増, 32学級となる。
- 55. 4 2学級増, 34学級となる。
- 55. 10 唐津市長松みどりの少年団を結成する。
- 56. 3 校舎増築完工。(増築2,060,033 m² 改築1,464,496 m² 計34,000万円)
- 57. 2 国際児童年記念庭園並びに温室完成。
- 58. 4 1学級減, 33学級となる。
- 60. 4 1学級減, 32学級となる。
- 64. 1 昭和時代終わり, 平成年号へ
- 平成 2. 5 南校舎前通路インターロッキング舗装完了。
- 2. 12 校庭に藤棚完成。
- 2. 12 本校PTA並びに会長, 日本PTA全国協議会より表彰を受ける。
- 3. 4 成和小学校新設のため分離, 30学級となる。
- 4. 4 1学級増 31学級となる。
- 5. 4 1学級増 32学級となる。
- 6. 1 長松地下道完成. 併せての校門付近の改修工事。
- 6. 2 屋内運動場の大規模改修工事竣工。
- 6. 4 図書館改造工事竣工
- 6. 10 パソコン教室を新設. パソコン20基設置。
- 6. 8 運動場改修工事7. 1TT授業研究会を行う。(4年全学級)
- 7. 6 普通教室蛍光灯取替え並びに増設工事
- 8. 2 学校創立120周年記念事業を行う。
- 8. 4 科学技術庁より創意工夫育成功労学校表彰を受ける。
- 8. 5 プール改修工事
- 8. 6 放課後児童クラブ開設
- 8. 9 公共下水道直結
- 9. 4 特学に情緒学級新設。知的とあわせ2学級となる。

- 10. 3 小プール完成。
- 11. 4 1学級減 30学級となる。
- 12. 4 「総合的な学習の時間」の県指定(2年間)をうける。
- 13. 4 1学級減 29学級となる。
- 13. 6 「総合的な学習の時間」の研究発表会を行う。
- 13. 7 校舎改築着工。仮校舎移転。
- 13. 12 大規模改修第一期工事(北校舎)竣工。新飼育小屋完成, 移転。
- 14. 9 唐津地域イントラネット基盤整備工事パソコン導入。
- 14. 12 大規模改修第二期工事(南校舎)一部竣工。
- 15. 12 大規模改修大三期工事(西校舎)竣工。
- 16. 4 1学級減 28学級となる。
- 17. 3 運動場拡張工事終了
- 17. 4 1学級増 29学級となる。創立130周年記念航空写真撮影。
- 18. 4 1学級増 30学級となる。
- 19. 4 30学級 特別支援学級(情緒学級廃止, 肢体不自由学級新設)
- 20. 4 30学級
- 21. 4 1学級減 29学級となる。(特別支援学級3学級)
- 22. 4 1学級減 28学級となる。(特別支援学級2学級)
- 23. 4 1学級減 27学級となる。(特別支援学級2学級)
- 24. 4 学校運営協議会(コミュニティースクール)実施(26.4.1)に向けての準備期間(2カ年間)に入る。
- 4 2学級増 29学級となる。(特別支援学級3学級)
- 25. 8 4・5・6学年全学級電子黒板設置
- 26. 4 学校運営協議会(コミュニティースクール)本格実施
- 8 1・2・3学年全学級電子黒板設置
- 3 大プール濾過器取替
- 27. 8 特別支援学級電子黒板及びタブレットPC配置6台
- 28. 4 1学級減 26学級となる。(特別支援学級3学級)
- 29. 4 2学級増 28学級となる。(特別支援学級3学級)
- 30. 4 1学級増 29学級となる。(特別支援学級4学級)
- 30. 9 放課後児童クラブへ被服室まで貸与
- 30. 10 プール床塗装工事終了

(2) 近年の研究歴

- 昭和49. 4 自主研究として「算数」の研究に取り組む。
- 50. 4 「算数」研究について, 県・市の指定を受ける。
- 51. 11 県・市教委研究委嘱「算数」教育の研究発表を行う。
- 55. 2 算数科「ひとりひとりを生かす学習指導の研究」7年間の収録完成。
- 56. 4 「特別活動」の研究に取り組む。
- 63. 4 「国語」の研究に取り組む。
- 平成 2. 4 「楽しくて豊かな国語教育(言葉を大切にした指導)」に取り組む。
- 3. 4 説明的文章の指導の研究を通して, 研究主題にせまる。
- 4. 4 物語文・詩の指導の研究を通して, 研究主題にせまる。
- 5. 4 体育科の学習を通して, 自ら学び生き生きと活動する子どもをめざす。
- 6. 4 体育科の学習指導の研究を通して, 研究主題にせまる。
- 7. 1 T・T東松地区公開授業研究発表会。
- 7. 4 体育科の学習指導の研究を通して, 研究主題にせまる。
- 8. 4～ 算数科の学習を通して, 自ら学び生き生きと活動する子どもの育成をめざす。
- 10. 4～ 複数教科の学習を通して, 自ら学び生き生きと活動する子どもの育成をめざす。

12. 4～ 県教委指定研究「総合的な学習を通して、自ら学び生き生きと活動する子どもの育成」をめざす。
13. 4～ 県教委指定研究「ふるさとに根ざし、ふるさとを創る、21世紀の子どもの育成」をめざす。
県教委指定研究「総合的な学習の時間」研究発表会
14. 4～ 市教委指定研究「ふるさとに根ざし、ふるさとを創る、21世紀の子どもの育成」をめざす。
17. 4～ 算数科を通して「響き合う授業・高め合う児童育成」をめざす。
20. 4～ 県教委研究指定「学力向上」
21. 11 県教委研究指定「学力向上」研究発表会(第1中学校区)
22. 4～ 校内研究「認め合い、支えあう児童を育む教育の創造」
23. 4～ 校内研究「望ましい人間関係の形成」－学級活動・道徳を通して－
24. 4～ 校内研究「望ましい人間関係の形成」－学級活動(話し合い活動)を中心にして－
25. 4 校内研究「ことばを大切にしながら、的確に表現できる児童の育成」
～27. 3 ー基礎・基本を培う言語活動の充実を通してー
27. 4～ 市教委研究指定「学力向上」(第1中学校区)
校内研究「なかまと考えをつなぐ児童を育てる教師の役割」
ー グループトークを生かした授業作りを通して ー
29. 4 市教委研究指定「学力向上」推進校(第1中学校区)
校内研究「子どもたちの考えをつなぐ、教師の役割」
～子どもたちの思考力・表現力を高めるためのグループ学習のあり方～
30. 4 市教委研究指定「学力向上」推進校
校内研究「子どもたちの思考力・表現力を高めるためのグループ学習の在り方」
～自分の考えを絵や図、式、言葉でかき表し、説明することを通して～
31. 4 県教委研究指定 小中連携による学力向上推進地域指定事業
校内研究「3ラインの指導で学力向上を目指す授業設計」
～「できた」「わかった」から活用に向かう算数科授業作り～

(3) 歴代校長一覧

	[氏 名]	[就任年月]	[退任年月]	[備考]
初代	林 誠一郎	明治27年 2月	明治33年 9月	
2	長谷川 毅之助	明治33年 9月	明治35年 3月	
3	大 平 寅太郎	明治35年 4月	明治42年 3月	
4	石 塚 新三郎	明治42年 4月	大正 9年 3月	
5	濱 田 清	大正 9年 4月	大正12年 12月	
6	井 山 定太郎	大正13年 1月	大正15年 3月	
7	村 岡 長九郎	大正15年 4月	昭和 3年 3月	
8	辰 野 鑑 馬	昭和 3年 4月	昭和 6年 3月	
9	中 島 太	昭和 6年 4月	昭和 9年 3月	
10	草 場 達 蔵	昭和 9年 4月	昭和16年 11月	
11	坂 本 光 雄	昭和16年 12月	昭和18年 3月	
12	小 松 満	昭和18年 4月	昭和21年 3月	
13	脇 山 清 吉	昭和21年 4月	昭和22年 3月	
14	坂 本 卯三郎	昭和22年 4月	昭和26年 3月	
15	井 上 留 治	昭和26年 4月	昭和27年 3月	
16	西 橋 清 蔵	昭和27年 4月	昭和28年 3月	
17	辻 締 太	昭和28年 4月	昭和36年 3月	
18	木 塚 素	昭和36年 4月	昭和40年 3月	
19	花 田 實	昭和40年 4月	昭和43年 3月	
20	飯 田 秀 夫	昭和43年 4月	昭和45年 3月	
21	南 里 武 治	昭和45年 4月	昭和49年 3月	
22	石 倉 博 行	昭和49年 4月	昭和52年 3月	
23	栗 原 照 行	昭和52年 4月	昭和54年 3月	
24	木 村 喜一郎	昭和54年 4月	昭和57年 3月	
25	佐々木 道 正	昭和57年 4月	昭和60年 3月	
26	福 井 壽 一	昭和60年 4月	平成 元年 3月	
27	本 村 秋 雄	平成 元年 4月	平成 5年 3月	
28	山 浦 五 郎	平成 5年 4月	平成 9年 3月	
29	島 津 末 次	平成 9年 4月	平成12年 3月	
30	尾 崎 隆	平成12年 4月	平成16年 3月	
31	平 井 陽 一	平成16年 4月	平成20年 3月	
32	一 色 健 治	平成20年 4月	平成23年 3月	
33	岸 本 嘉 彦	平成23年 4月	平成24年 3月	
34	増 本 博 宣	平成24年 4月	平成28年 3月	
35	松 山 茂 樹	平成28年 4月	平成30年 3月	
36	牟 田 尚 敏	平成30年 4月	令和 2年 3月	
37	佐々木 講 吉	令和 2年 4月		